

- 1 **くがにくとぅば[黄金言葉] vol.236**
パンは自分のありのままであり親友で家族
いまいパン合同会社 代表 今井 陽介
- 5 **地域リレーションシップ情報 234**
沖縄総合事務局経済産業部からのお知らせ
沖縄県酒造組合が令和6年度知財功労賞において
特許庁長官表彰を受賞！
- 6 **【スポット調査】**
2024年度賃金動向について
- 11 **「沖縄観光における県産酒類の**
需要に関する調査」 報告書
- 28 **けいざい風水**
- 32 **おきぎんカトレアクラブ通信**
- 34 **県内景況・確報**
2023年度の県内景況
- 42 **国内景気動向**
- 44 **沖縄マーケティング情報**
①沖縄県内の事業所数・従業者数・人口・世帯数
②世界の中の沖縄(年次)
③グラフでみる沖縄経済
④数値でみる沖縄県・全国の経済動向(月次)
- 64 **経済社会のできごと (沖縄、国内・海外)**
2024年4月



表紙写真/平和祈念公園

パンは自分のありのままであり親友で家族



いまいパン合同会社
代表 今井 陽介



いまいパン合同会社は開業後、豊富なパンの種類や味が人気となり現在は那覇市内に4店舗を展開しています。今回は、今井 陽介社長に、いまいパンの特徴や店舗拡大とともに進めたDXや働き方改革などについてお話を伺ってまいりました。

いまいパン創業まで

私はもともと沖縄県の出身ではなく、茨城県で生まれ育ち、東京の製菓専門学校を卒業後、銀座の木村屋で3年間修業しました。27歳のころにフランスに行き、パリのバゲットコンクールで入賞したこともあります。その後、日本に戻りパン屋の副店長、店長と経験した後、マレーシアに渡りパン屋の製造責任者として5年間滞在しました。

沖縄に来ることになったきっかけは、マレーシア滞在時に知人に「温暖でマレーシアに気候も近い沖縄で店を持ったらどうか」と勧められたためでした。そして、フランス時代に知り合っていた妻がケーキ職人で沖縄出身だったことを思い出し連絡を取りました。そこからとんとん拍子に進み、妻の実家であり、義理の父が金物屋をやっていた場所に真地店をオープンしました。現在はオープンから12年目、38名の従業員でやっています。



県内に4店舗を展開

現在県内には4店舗を展開していて、創業の地でもある真地店が本店です。大きくない店舗ですが、焼き菓子も含めて100種類近くの商品を揃えています。

古島店は、いまいパンのエッセンスを汲んだ店長に運営してもらっています。主力の商品は同じですが、古島店の店長の思いで作っている商品も取り扱っています。



識名園内にある「王朝食パン識名園」は、コロナ禍で来場客数が大きく落ち込んだ世界遺産の識名園を盛り上げようという形で那覇市からの委託を受けてオープンしました。こちらは高級食パンの専門店になっています。



栄町店は、最も新しく、オープンから1年ほどの2坪しかないとても小さな店舗です。栄町内にある私がよく通っていたコーヒー店のオーナーに「パン屋さんが来ると町が明るくなる」と言われ、一緒に地域を盛り上げたいという思いでオープンしました。



いまいパンのこだわり

我が社の経営理念に「地域とともに誇らしく自分らしいパン作り」とあるように地域に根差すということを大事にしています。なるべく地域の素材を使い、地域の素材を使わない場合でも地域のコンセプトを商品に取り入れるようにしています。主力商品は「きな粉餅揚げパン」で、これは1日で500個売上げています。また、「繁多川の豆乳パン」や霊園が近いことから開発した「ウートートーパン」などもあります。



パンの他にも「琉球世界遺産スイーツ」と銘打ったスイーツの販売も行っています。「首里城 嘉例餅（かりーぺい）」、「識名園 浪漫餅（るうまんぺい）」が現在発売中で今後も展開を増やす予定です。こちらは店舗の他にも那覇空港や百貨店でも購入することができます。

私がパン職人で、妻がケーキ職人なので、パンとスイーツの2つの軸に地域の素材と地域のコンセプトを掛け合わせて商品展開をしています。



DX化で将来のビジョンを定める

最初にDXに触れたのは2年ほど前のことで、元々理解があまりなかったので沖縄県が実施していた無料の研修を受講したことがきっかけでした。そしてその研修では、将来のロードマップを作成するところから始まりました。当時はコロナ禍真っ最中で、赤字が続き、未来どころか今の現実も見たくないような状況でした。しかし、将来のビジョンを見える化したことで会社の進むべき方向が見えてきました。

その後行ったDXの取り組みの一つは販促でした。私も妻も職人なので商品開発に長けている自負はありましたが、どうしても販促が弱かったので、DXを活用してプライスカードを効率化しました。

そして、DXで最も力を入れていた部分は社内コミュニケーションの強化でした。様々なシステムやソフトを導入してみたのですが、職人が多いので難しいところも多く結局一番機能したのは誰でも無料で使えるLINEでした。今ではLINEやZOOMで社内のコミュニケーションを行っています。

また、県の研修に参加したことはDXを学ぶだけではなく、近い世代の経営者や、大きな企業の職員が熱意を持って取り組む姿を間近で見ることができ、とても刺激になりました。

働き方改革とビジョンの共有

働き方に関しては、職業柄どうしても残業があるのですが、皆が休みたいときに休めるような職場にはなりました。「〇日休みたいです」と店長に報告するのではなく、社内でのコミュニケーションと同様にすべてLINEで共有しています。

また、「地域とともに誇らしく自分らしいパン作り」という経営理念を掲げたことによって、目指すビジョンが共有され、求める人材像が見える化されたこともプラスになりました。

その成果もあり、現在も3名の採用待ちがいる状態であり、幸いにも人手不足は感じていません。とは言っても、即戦力をすぐに確保できているわけではなく、未経験の従業員でも会社の求める人物像に合致していれば3年後、5年後に戦力になってくれればと考えて採用しています。



パン作りの延長線上の経営

DXや働き方改革など様々な取り組みを行ってきましたが、これまでパン作りしかしたことがなかった私にとって経営は非常に大変なものでした。上手くいかないことも多く、パン屋と経営は別物だと考えてやっていたのですがある時、経営をパン作りに置き換えるととても腑に落ちるようになりました。資金繰りや人材育成もそうです。

例えば、パンは定期的な点検や温度管理が大切です。同じように従業員とも毎月面談を行って様子を気にするようにしています。こうやってパンに置き換えた時になんとか経営が勉強しやすくなりました。

また、ここ1年ほどですが、会社のブランディングを行っていて先ほどの経営理念やビジョンを言葉に表すようにしました。その中で、「自分の弱さを鍛錬し続けた結果 逃げる心を律することができるようになった パンは自分のありのままであり親友で家族」という言葉が出てきたときにとっても救われたような気持ちになりました。私にとって仕事や経営をパンに置き換えることですごく楽になりました。今後もあまり真面目にとかではなく、パン屋を楽しむという思いで頑張っていこうと考えています。



人とパンを
あたたかく育てる。



いまいパン 真地本店

OPEN

7:30～19:30

HOLIDAY

月曜日

TEL.

098-836-3008

ADD.

〒902-0072 沖縄県那覇市真地12-4

いまいパン 古島店

OPEN

10:00～19:30

HOLIDAY

月曜日

TEL.

098-911-1397

ADD.

〒902-0061 沖縄県那覇市古島1-28-5



王朝食パン 識名園

識名園内、高級食パン専門店。

OPEN

10:00-17:00

※売切れ次第閉店する場合があります

HOLIDAY

水曜日

TEL.

098-961-3233

ADD.

〒902-0072 沖縄県那覇市字真地421-7 識名園 駐車場内

THE SAKAEMACHI ARCADE BAKERY

那覇市栄町市場のパン屋さん

OPEN

月、水、金 11:00～17:00頃

※売切れ次第閉店する場合があります

(4月から火、木、土曜日不定期に営業します。ご来店前にInstagramをご確認ください)

HOLIDAY

火曜日、木曜日、土曜日、日曜日

ADD.

〒902-0067 沖縄県那覇市安里385 新崎店舗 109号

けいざい風水



沖縄県民の金融リテラシー

「家計の黒字化」が重要

沖縄銀行ローンFPステーション北谷店店長
仲里 直子

「お金の知識と判断力」を表す「金融リテラシー」という言葉をご存知ですか？ 金融広報中央委員会（事務局・日本銀行）が行っている2022年の金融リテラシー調査で沖縄県は、19年に続き全国最下位となりました。全国と比較した沖縄県の特徴として、消費者ローンの利用が多く、期日の支払いが遅れがちで、緊急時の備えが不十分、また金融トラブル経験者の割合が高い傾向にあります。

家計収支の基本を「収入－固定費－生活費＝貯蓄（黒字）か借入（赤字）」ではなく、「収入－貯蓄－固定費＝生活費（黒字の範囲）」とすることで、緊急時の備えが可能です。また、支払い期日の遅れは個人の信用情報に傷が付き、将来、必要な契約が不成立となる場合もあります。

政府の推奨する「貯蓄から投資へ」のスタート地点に立つためにも、家計の黒字化を目指すことが重要と言えます。

スマホの登場、キャッシュレス決済の普及、成人年齢の引き下げなど、これまでよりも多くの場面や世代で高い金融リテラシーが求められるようになりました。経済的に自立し、より良い生活を送るために、なるべく早い段階で「家計管理の習慣化」を意識し「生活（将来）設計を立てる」ことが重要です。

22年度から高校の家庭科授業において金融教育が必修化されました。

金融広報中央委員会は公式サイトで、世代に合ったお金のまつわる動画や教材を無料公開しています。ぜひ参考にされてはいかがでしょうか？

金融リテラシー調査における沖縄県の特徴（一部抜粋）

項目	全国	沖縄県
緊急時に備えた資金を確保している人の割合	57.0%	45.4
期日に遅れずに支払いをする人の割合	85.0	78.3
消費者ローンを利用している人の割合	4.6	6.5
お金を借りすぎていると感じている人の割合	11.6	18.1
金融トラブルの経験者の割合	7.3	9.2

出所：金融広報中央委員会「金融リテラシー調査(2022年)」を基に作成
(2024年2月25日掲載)



トライアスロンの効果

地域観光に大きな刺激

沖縄銀行 審査部 上席調査役
玉城 樹

過酷なスポーツという印象の強いトライアスロンですが、男女問わず幅広い年齢層の方がこの競技を楽しんでおり、近年では小学生を対象としたキッズ・ジュニア大会も増え国内愛好家は30万人を超えていると言われています。

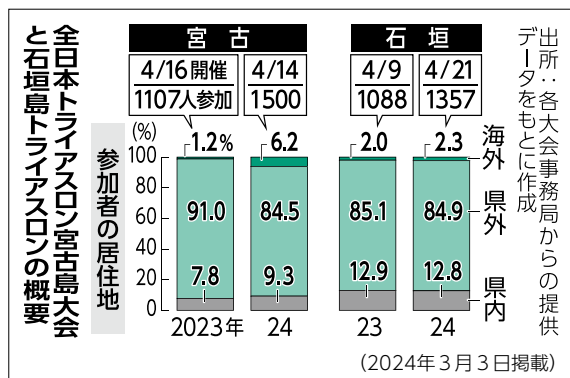
毎年、全国各地で多くの大会が開催されており、沖縄県の代表的なレースに全日本トライアスロン宮古島大会と石垣島トライアスロンがあります。美しい海岸線や豊かな自然をバックにした風光明媚（ふうこうめいび）なコースが特徴で国内外から多くの選手が集まります。今年の参加者数も両大会ともに1千人を超える予定です。

トライアスロン大会は開催地域の観光業界に大きな刺激を与えます。参加者やサポーター、観戦客が地域を訪れ、宿泊施設やレストラン、観光名所などを利用することで、観光産業が活気づくことが期待されます。

また、トライアスロンを趣味にすることはビジネスにも生きると言われています。スイム、バイク、ランの3種目をこなしゴールを目指す競技ですが、大会に向け計画的にトレーニング、何を伸ばしどこを克服するのか戦略の立案と実行が不可欠です。

ビジネスにおいても戦略的な計画が欠かせません。ビジョンやミッションの設定、市場戦略、財務計画などが成功に寄与します。身体的・精神的な強化、自己管理能力の向上などの効用が期待できます。

宮古、石垣で開催されるそれぞれの大会まで残すところ1カ月余りとなりました。出場される選手の皆さまの長い練習の成果を最高のパフォーマンスで発揮してください。





気温上昇傾向の地球

台風きっかけに考える温暖化

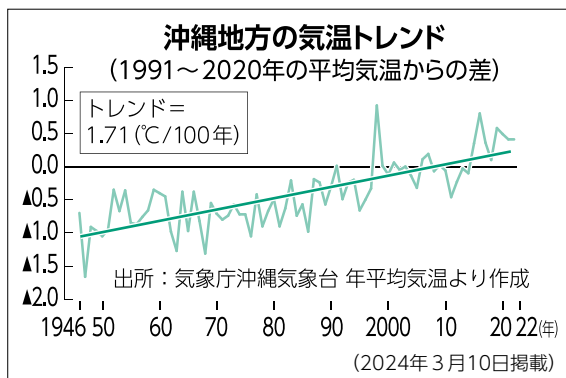
沖縄銀行 リスク管理部 主任
仲本 寛矢

「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」。2023年7月、国連のグテーレス事務総長は世界を覆う熱波についてこう言及しました。地球温暖化は、二酸化炭素やメタン、フロン類といった温室効果ガスが要因とされ、世界平均気温は産業革命以前に比べて1度以上高くなり、このまま十分な対策を行わなければ2100年には世界平均気温は4度以上上昇すると言われています。実際に沖縄地方の気温も上昇傾向にあります。

大雨や強風などの気象現象によって生じる災害を気象災害と呼びますが、近年、気象災害に関連するニュースをよく耳にするようになりました。沖縄県にとって身近な気象災害の一つに台風があります。地球温暖化による台風の発生数に長期的な変化は見られないものの、強い勢力の台風が発生する割合は増加する可能性があると言われています。

例えば、2018年の台風第21号を一定条件のもとスーパーコンピュータで予測した場合、世界平均気温が産業革命以前に比べて4度上昇すると、最大風速は平均10.2m/s増加、1時間降水量も平均17.6%増加するというシミュレーション結果が環境省から紹介されています。

沖縄地方は過去30年間（1994～2023年）で平均7.5個、04年は最多である15個の台風が接近しており、今後の地球温暖化によって台風による大雨や暴風、高潮等が増加する可能性があります。台風という身近な気象災害をきっかけに、地球温暖化を考えてみるのも新たな視点かもしれません。



沖縄の発展支える 防災意識

教訓生かし、事前の対策を

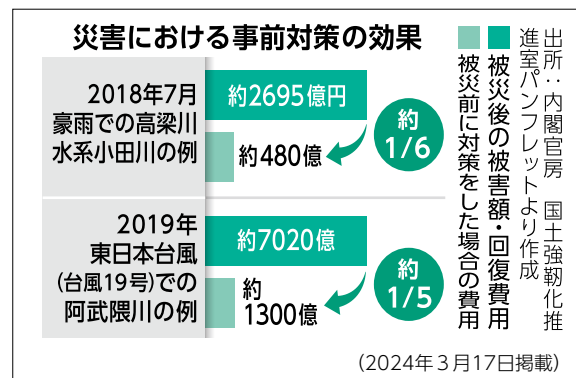
沖縄銀行 法人事業部 調査役
川上 大樹

皆さまは日頃より防災対策はされていますでしょうか。気象庁によると日本では震度5以上の地震は18.6回/年間（過去10年間の月別地震回数）、1時間に50ミリ以上の雨が降る風水害は334回/年間（過去10年間の平均年間発生回数）と、多くの自然災害が発生しています。

また、近い将来大規模地震が発生する可能性もしばしば取り上げられており、今後は東日本大震災や記憶に新しい能登半島地震をはじめとした、数々の災害の教訓を踏まえ、被害を最小限に抑えるための対応が企業や住民に求められています。

防災に対する企業の対策としては、事業継続計画（BCP）の策定や、オフィス・工場・家屋等の耐震化、インフラ老朽化対策等があります。事前の対策による効果として、事前の対策を行わなかった場合よりも復興の際に速やかに回復することができます。また、内閣官房国土強靱（きょうじん）化推進室の試算によると、事前に防災対策をした方が五分の一～六分の一程度の費用で済むとされており、少ない先行投資が大きな効果をもたらすことが分かります。

沖縄は他の都道府県とは違い島嶼（とうしょ）県であり、災害発生時に港湾施設等の被災により他県から支援物資が届かない可能性があるなど固有の被害も想定されます。常日頃から、自治体だけでなく、企業や住民一人ひとりが防災への意識を高めることが沖縄の持続的な成長につながります。これまでの教訓を生かし、事前の対策に取り組んでみてはいかがでしょうか。





日本と海外のモバイルバンキング

利用者増へ全国共通アプリを

沖縄銀行 事務部 調査役
川門 正幸

皆さん、スマホにモバイルバンキングは入っていますか？ モバイルバンキングは、スマートフォンやタブレットなどの端末からインターネットを通して、銀行口座の残高や明細の照会、振り込みができるサービスです。振込手数料は通常、銀行窓口やATMより安く、利用者は「いつでも利用できる」「銀行やATMに行かなくてもよい」などと感じているそうです。

日本では1990年代後半にインターネットバンキングが開始され、四半世紀を経て個人の利用率は2021年の調査で6割を超えましたが、モバイルバンキングの利用率は3割程度にとどまっています。利用しない理由には「セキュリティ面の不安」「必要性を感じない」「申込が煩雑・パスワード設定が面倒」などが挙げられています。

一方、海外は高く、韓国やトルコ、ナイジェリア、インドネシア、シンガポールは8割、イギリス、ブラジル、ベトナムは7割、アメリカ6割を超えられています。

アメリカの銀行の多くが導入する共通アプリは、お金を受取る側の名前とメールアドレスまたは携帯電話番号のいずれか二つを事前に登録することで、少額の資金移動が瞬時に手数料無料で行える利便性や、敷居の低さが普及に貢献しているようです。

日本のモバイルバンキング利用者を増やすには、安心して利用できるセキュリティ面強化を前提に、家族、親戚、友人、同僚との少額資金のやり取りや、商品・サービスの決済に利用できる全国の金融機関共通のアプリの登場が必要なのかもしれません。

国内のネットバンキング利用率	2018年	2021年	増加率
ネットバンキング(計)	60.3	61.6	1.3
パソコンからブラウザを使用	54.3	46.5	▲7.8
スマートフォン向けバンキング(計)	20.8	35.5	14.7
スマートフォンからアプリを使用	18.0	32.8	14.8
スマートフォンからブラウザを使用	12.9	17.1	4.2
モバイル(スマートフォン以外)(計)	8.8	10.1	1.3
タブレットからアプリを使用	6.6	7.9	1.3
タブレットからブラウザを使用	6.8	7.0	0.2
その他の方法によるバンキング	5.5	6.4	0.9

出所：一般社団法人全日本銀行協会「よりよい銀行づくりのためのアンケート」より作成
(2024年3月24日掲載)



新社会人のキャリア形成

人生100年時代の基礎力磨く

沖縄銀行 人事部 調査役
新垣 優理子

新年度スタート目前、新社会人となる皆さんは不安や期待、そしてやる気に満ちあふれていることでしょう。このような状況にある方に対して、社会人として身に付けてほしいスキルを紹介します。

経済産業省が提唱している「人生100年時代の社会人基礎力」です。一步前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む「前に踏み出す力」、自ら課題提起し解決に向けて自律的に考え抜く「考え抜く力」、多様な人々と共に目標に向けて協力する「チームで働く力」の三つの能力と12の能力要素で構成されています。

能力を発揮するに当たって、自己を認識してリフレクション(振り返り)しながら「どう活躍するか(目的)」「そのために何を学ぶか(学び)」「どのように学ぶか(統合)」をバランスよく考え、業界の特性に応じた社内・専門スキル(アプリ)と社会人基礎能力(OS)を常にアップデートし続けることが自らのキャリアを切り拓(ひら)く上で必要だとしています。

言い換えると、人生100年時代、一生涯充実した社会人生活を送るためには、会社から与えられる学びや社会人基礎力を磨くだけでは足りないということです。ライフステージの各段階や、変化する外部環境に対応するための学び直しなど、主体的なキャリア構築も重要になります。

近い将来、それまでに積み重ねた知識、経験、スキルにより付加価値を高めた方が、社会に貢献できる人材になっていくと考えます。新社会人の皆さまへ心からエールを送ります！一緒に頑張りましょう。

